



# 黒川中だより

<https://tainai-kurokawa-jhs.edumap.jp/>

第 6 号 令和 7 年 11 月 14 日発行 TEL 0254-47-2425



教育目標 「自ら学び 鍛え合おう 心豊かに たくましく」  
目指す生徒像 「ふるさとを愛し、正しい心もち、主体的に行動する生徒」

## 「旬に生きる」

校長 村田 健

2学期の大きな行事「体育祭」「音楽発表会」が無事に終了いたしました。激励に駆けつけていただいたご来賓の皆様、生徒に対して熱い応援をいただいた保護者・地域の皆様、心から御礼申し上げます。また、体育祭地域種目「玉入れ」や音楽発表会「PTA 合唱」に参加していただいた皆様と楽しい時間を共有することができました。ありがとうございました。

どちらの行事も生徒が事前に準備や練習を重ねてきました。リーダーを中心に活動を行う中で、時には意見が食い違ったり、イメージと違う方向に進んだりして順風満帆とはいかない場面もあったと思います。それを乗り越えていくことが経験となり、それが成長につながります。特に3年生に関しては、どちらの行事も全校をまとめ、引っ張る姿は頼もしく映りました。

11月1日に胎内市産業文化会館で市制施行20周年記念式典が行われました。アトラクションとして、市内4中学校の3年生が「ハレルヤ」の合唱を披露いたしました。音楽の時間や音楽発表会の練習時間を使って、練習を繰り返していました。同じ頃、他の中学校の3年生も頑張って練習をしていたと思います。当日、満員の会場で市内の3年生が堂々と合唱を披露する姿は、会場にいた方すべての心を熱くしました。私の近くでも涙している方がいましたし、何度も「ブラボー」の声が上がりました。各校で様々な経験をし、成長した3年生が発する歌声には、魂やプライドといった目には見えないオーラを感じました。

さて、タイトルの「旬に生きる」ですが、様々な方が様々な場面で使われる言葉です。言葉の受け取りとしても、その時の状況によってニュアンスが変わる言葉です。なぜ、この言葉の話になるかということ、今年の9月、東京で「世界陸上」が開催され連日テレビ放映されていました。前回東京で開催された年、大学4年生だった私がこの言葉と出会ったことを思い出したからです。当時、陸上競技部のコーチの先生は「旬に走る」という言葉を何度か使って私たちに指導されていました。今となれば、「大学生の今しかできない走り」「コンディションを最高にもってくる」などの意味が含まれていたのですが、私にはあまりピンとこなかったのが正直な思いです。卒業を控えた頃、コーチから卒業のメッセージをいただくよう色紙を持ってゼミ室を訪れました。その時に書いてくださった言葉が「旬に生きる」でした。「いつもと違って生きるになってますね」「社会に出るのだから、こっちがいいだろう」と会話をした記憶があります。

今回、世界陸上を見て「旬に生きる」という言葉を思い出し、「自分の旬はいつ?」「今しかできないことに取り組んでいるかな?」などと考えてしまいました。自分に対しての答えは出ませんでした。しかし、前段に書きましたが体育祭や音楽発表会など、2学期の黒川中学校の生徒の皆さんの活動している姿は、まさしく「旬に生きる」そのものだと感じました。

これから、行事以外でも自然体で精一杯取り組むことが大切です。それが自分らしく生きることにつながり、成長する姿となります。今やるべきことを最優先でやってみましょう。後回しにすると旬を逃すこととなります。

**今、あなたが最優先にやることは何ですか？**

# 10/25 音楽発表会 『とどけよう 輝く思いを 歌にのせて』

音楽発表会までの2週間、生徒は音楽の授業や放課後の時間を使って、スローガンを胸に練習を重ねました。当日、生徒たちは、自分たちの思いを届けようと、体全体を使って精一杯歌声を響かせました。また、吹奏楽部の演奏やPTA合唱が発表会を盛り上げました。ピアノ伴奏は、片岡 萌子様(中条中教諭)、高木 麻由様(黒川小教諭)からご協力いただきました。

## (1) 1年生 <曲名>変わらないもの、HEIWAの鐘

指揮者	今井日奈子さん	実行委員	片野歩夢さん
		兼紹介者	皆川詩星さん

自分の分からないパート部分を先生や実行委員に聞いて、「分からない」をなくしていくところがすごいと思いました。歌を表現することは、難しいけど、授業や放課後にたくさん練習をしたのでうまくなっているなど感じました。パートリーダーの心美さんは、ソプラノの声の大きさやリズムがもっと良くなるよう昼練習するなどの声掛けや、みんなの歌いづらいところをたくさん聞いてくれました。本番は、みんなでよい合唱ができてとても良かったです。(坂上蘭花さん)



## (2) 2年生 <曲名>14-fourteen-、旅立ちの時~Asian Dream Song~

指揮者	水澤一真さん	実行委員	小柳心々奈さん
		兼紹介者	高橋寿太郎さん

実行委員として感じたことは、みんなすごく一生懸命に取り組んだこと。最初「みんなちゃんとやってくれるかな？」と不安でいっぱいでした。しかしその不安は1回目の練習ですべて吹き飛びました。すごく話を聞いてくれるし、自分たちの課題に素直に向き合うし「これは良い合唱になる」と確信しました。練習を重ねるごとにすごく成長していき、とても嬉しかったです。もちろん時には音程や声量のバランスが悪かったりしましたが、その都度、話し合って直していきました。本番では大成功を収めることができて良かったです。(高橋寿太郎さん)



## (3) 3年生 <曲名>Hallelujah!、栄光の架橋

指揮者	小野海斗さん	実行委員	◎伊藤愛絆さん
	緒形太佑さん	兼紹介者	○佐藤陽基さん

最初、授業で歌った時にはどちらも歌えるか不安でした。ですが、アルトの仲間と何度も練習し、「ここはこうじゃない？」などみんなで教え合いながら歌を完成へと近づけていきました。みんなの頑張る姿をみて「自分も頑張ろう」という気持ちになり一生懸命取り組むことができました。本番は、みんなが全力を出し、スローガンのように一人一人の輝く思いを歌にのせ、表現できました。仲間との協力によって、こんなにも良い合唱になることを学ぶことができました。(伊藤愛絆さん)



吹奏楽部による演奏



全校合唱

# 1年生 地域の魅力発見～黒川PR作戦～

1年生は総合的な学習の時間に「地域の魅力発見」をテーマにこれまで学習をすすめています。

10月11日には「職ナビゲーション」が開催され参加してきました。市内の各事業所が18ブースを設け、現場の方から仕事の魅力について直接話を聞いたり、体験させてもらったりするなど、自分の将来のことについて考える大変有意義な機会となりました。

10月21日には、市美術館や黒川駐在所等の公社、黒川地区で営んでいる事業所を訪問し、各事業所の魅力を探るべく、インタビュー活動を行ってきました。生徒は、地域の魅力を探そうと、積極的に活動に取り組んでいました。今回を含めたこれまでの学びをまとめ直し、黒川のPRへつなげていきます。PR方法等については、地域の方や専門家に助言をいただく時間を設けて学習を進めていきます。

「インタビュー活動の様子」



「職ナビゲーションの様子」



# 2年生 地域と関わり将来像を考える～職場体験学習～

10月7日（火）～9日（木）の3日間、黒川地区の事業所へ職場体験を実施しました。1年時は、黒川の魅力について現1年生同様に、インタビュー活動や施設見学、いわゆる「見学・探る」ことをメインに黒川の魅力をまとめ、発信してきました。今年度は、実際に事業所を「体験」することで、感じるできなかった内容を、より深く探る学習を進めています。一人1事業所への体験から自己の勤労観等の学びを深めるとともに、幅広い地域の良さや課題を一段階深堀し、3年時の地域活性化につなげていきます。

## 職場体験の様子 20事業所の皆様からご協力をいただきました



体験していく中で感じたことは、お客様から「頑張ってるね」「おいしかったよ」などの言葉をかけていただき嬉しかったし、やりがいを感じる事ができました。また、働くことの大変さに気付く事ができました。親には改めて感謝しないとな、と思いました。(錦織音映さん)

2年生は、普段の学校とは違う素敵な表情をしていました。生徒が、緊張したり、恥ずかしがったり、失敗したりして、事業所の皆様にご迷惑をかけたかと思えます。ですが、学校ではできない貴重な経験をさせていただきました。事業所の皆様のご協力に感謝いたします。



# 11/1 胎内市教育の日 人権、いじめについて「考え、議論する道徳」の授業公開



市制 20 周年 市内の 3 年生による合唱「Hallelujah」

## 第2回避難訓練 & 防災学習

10月20日(月)に火災を想定した避難訓練を実施しました。生徒は放送を静かに聞き、その後の指示により落ち着いて避難することができました。命を守る大切な活動に真剣に取り組む姿が見られました。訓練終了後は、学年ごとに教室で防災学習を行いました。大雨による河川の氾濫、土砂崩れ等による災害について考え、意見交換や動画の視聴を行いました。避難経路や避難所の確認等、日頃の備えについて考え、学びました。



## 黒中生の活躍

### <卓球部>

胎内市市民卓球大会 第2位 木村花菜さん 第3位 桐生心菜さん  
 第5位 今井日奈子さん 第5位 越善愛織さん  
 下越地区新人卓球大会 越善愛織さん ベスト16 **県新人大会出場**  
 佐藤妃莉さん ベスト16 **県新人大会出場**

### <ソフトテニス部>

秋季市民ソフトテニス大会 第2位 緒方吏喜さん・本間 樹さんペア  
 中学男子 第3位 諏訪創軌さん・榎本 航さんペア  
 第3位 佐藤颯哉さん・中条スポ少ペア  
 中学女子 第3位 高橋凜音さん・高橋このんさんペア

### <人権作文コンテスト新発田地区大会>

優秀賞 松村莉奈さん「その人の価値を見誤らないで」

### <ボランティア活動>

ペットボトルキャップ寄贈 (社会福祉協議会)



## 11月～12月の主な予定

17日(月) 進路説明会、2年単元別整理テスト 諸経費振替日	2日(火) 第3回避難訓練
18日(火) ふれあい給食	3日(水) 専門委員会、基礎学力テスト <b>社会</b>
19日(水) 3年実力テスト、フッ化物洗口	4日(木) 2年オンライン学習交流会
20日(木) 生徒朝会	5日(金) 生徒会役員選挙立会演説会・投票票
21日(金) 3年薬物乱用防止教室、訪問給食	7日(日) 県アンサンブルコンテスト
25日(火) 中学校見学説明会、書道教室 いじめ見逃しゼロスクール集会	10日(水) 基礎学力テスト <b>理科</b>
26日(水) 人権教育、同和教育研修会 基礎学力テスト <b>英語</b> 、3年保育実習 フッ化物洗口	11日(木) 生徒朝会 (新三役任命式)
27日(木) 全校朝会	12日(金) キャリア学習発表会
	15日(月) 諸経費振替日
	17日(水) 基礎学力テスト <b>表現</b>
	～19日(金) 期末保護者会 作品展示
	23日(火) 球技大会
	24日(水) 終業式、大清掃